

「国立劇場」の1日も早い再開場を求める要望

内閣総理大臣 殿

文部科学大臣 殿

文化庁長官 殿

要望趣旨

国立劇場が令和5（2023）年10月に閉場して早くも1年が経ちました。当初は令和11（2029）年度に再開場が予定されておりましたが、2度にわたる入札の不調により、未だ事業者が決定しておりません。国の文化予算が不十分であることに加え、民間の資金を活用するPFI方式の行き詰まりや資材高騰、建設業界の人材不足など不調に至った要因は様々ですが、計画の遅れにより、このままでは10年以上にわたり国の文化面における顔とも言うべき劇場の不在が続くこととなります。

日本舞踊界では国立劇場開場以来、劇場主催の日本舞踊公演はもとより、（公社）日本舞踊協会を始め、全国の各流派や個人の日本舞踊家が主宰する公演も数多く開催され、その数は大劇場、小劇場を併せますと年間100公演はゆうに超えていました。国立劇場という拠点があればこそ、日本舞踊の伝承や活性化、技芸の向上が図られてきました。また、令和5年10月には日本舞踊が国の重要無形文化財として指定され、日本舞踊保存会が発足しました。折しも日本舞踊の継承に取り組まんとする機を同じくして、国立劇場の不在に直面し、文化財としての日本舞踊の未来への継承にも危機的な状況がもたらされています。

日本舞踊のみならず、伝統芸能専用劇場として、日本の多種多様な伝統芸能の継承に国立劇場が果たしてきた役割や機能は極めて大きく、代替のきかない存在でありました。長期にわたる国立劇場の不在は、日本の伝統芸能の伝承と新たな創造、国内外への発信、人材の育成など、すべての面において我が国の芸術文化の発展に大きな損失をもたらします。いわば国の文化力の衰退に直結する問題です。

現状を打開するため、国立劇場の再開場に向けて、1日も早く計画が進行することを要望いたします。

【公益社団法人日本舞踊協会】

会長／近藤 誠一

副会長／織田 紘二、古井戸 秀夫

【日本舞踊保存会】

会長／井上 八千代

副会長／吾妻 徳穂、尾上 墨雪

要望賛同者

	本名（必ずご記入ください）	芸名（お持ちの方はご記入ください）	住所（番地までご記入ください）
1			都 道 市 区 府 県 町 村
2			都 道 市 区 府 県 町 村
3			都 道 市 区 府 県 町 村
4			都 道 市 区 府 県 町 村
5			都 道 市 区 府 県 町 村
6			都 道 市 区 府 県 町 村
7			都 道 市 区 府 県 町 村
8			都 道 市 区 府 県 町 村

※署名は自署にて、住所は都道府県から番地までご記入ください。「同上」は無効になります。

※ボールペンでご記入ください。（鉛筆、消せるボールペンでの記入は無効となります）

※ご記入いただいた署名は、要望書への添付以外の用途には一切使用いたしません。

署名受付締切 令和7年4月15日(火) ※当初締切の3月31日を左記まで延長いたします。

【要望書送付先】

（公社）日本舞踊協会

〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-2-410

Tel 03-3533-6455 Mail : info@nihonbuyou.or.jp

原本を郵送にてお送りください。（ファックス、メール不可）